

国公私：単位互換用授業科目一覧

大学名：名城大学

2024(令和6)年度 前期 単位互換授業科目

曜日	時限	授業科目名	単位数	担当教員名	教室	備考
火	5	生産技術研究	2	澤田 慎治	タワー75(9階)905教室	※前期授業開始日：4月6日(土)～

2024(令和6)年度 通年 単位互換授業科目

曜日	時限	授業科目名	単位数	担当教員名	教室	備考
		開講なし				

2024(令和6)年度 後期 単位互換授業科目

曜日	時限	授業科目名	単位数	担当教員名	教室	備考
水	3	コーポレート・ファイナンス研究	2	田澤 宗裕	タワー75(9階)905教室	※後期授業開始日：9月14日(土)～

※正規学生(本学学生)の履修者数等によっては、授業科目を開講しない場合や履修できない場合もありますので、ご了承ください。

授業時間帯

【1時限】 9：10～10：40 【2時限】 10：50～12：20 【3時限】 13：10～14：40 【4時限】 14：50～16：20
【5時限】 16：30～18：00 【6時限】 18：10～19：40 【7時限】 19：50～21：20

時間割番号	720108
科目名	生産技術研究
科目名(英字)	Production Technology
担当者氏名	澤田 慎治
対象研究科・専攻	経営学研究科経営学専攻修士課程
講義学期	前期
単位数	2

準備学習・事後学習	準備学習として、次回の講義の項目に関する内容を2時間調べて、整理しておくこと。 事後学習として、毎回の授業内容を2時間復習し、整理しておくこと。																			
授業の概要と目的	作られるものによって様々な生産方法があることを知り、その上で生産者、消費者にとってよりよい生産は何かを考察し、身に付けることを目的とする。																			
該当するCP(カリキュラム・ポリシー)およびDP(ディプロマ・ポリシー)	本授業はCP1・3・4およびDP2・3に該当する。																			
科目ナンバリングコード	GBB11114																			
到達目標	ものを生産する技術や材料に関する理解し、説明できる。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【項目欄】</th> <th>【内容欄】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>はじめに</td> <td>授業の計画と進め方、履修上の注意など</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>自然素材1</td> <td>木材を使った生産について</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>自然素材2</td> <td>土を使った生産について</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>人工素材1</td> <td>ガラスを使った生産について</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>人工素材2</td> <td>プラスチックを使った生産について1</td> </tr> </tbody> </table>	番号	【項目欄】	【内容欄】	1.	はじめに	授業の計画と進め方、履修上の注意など	2.	自然素材1	木材を使った生産について	3.	自然素材2	土を使った生産について	4.	人工素材1	ガラスを使った生産について	5.	人工素材2	プラスチックを使った生産について1	
番号	【項目欄】	【内容欄】																		
1.	はじめに	授業の計画と進め方、履修上の注意など																		
2.	自然素材1	木材を使った生産について																		
3.	自然素材2	土を使った生産について																		
4.	人工素材1	ガラスを使った生産について																		
5.	人工素材2	プラスチックを使った生産について1																		

授業計画

6.	人工素材3	プラスチックを使った生産について2
7.	人工素材4	プラスチックを使った生産について3
8.	人工素材5	金属を使った生産について1
9.	人工素材6	金属を使った生産について2
10.	規格	規格品を使つての生産について
11.	環境	環境に配慮した生産について
12.	開発設計1	開発時、設計時における課題
13.	開発設計2	消費者にとっての生産品（品質、コスト等）
14.	人	生産する人についての課題

	15.	まとめ	これまでの総まとめ																								
授業方法の形式	演習。受講生が、各回の内容に基づき発表し、討論を行う。																										
授業の実施方法	対面授業																										
成績評価方法	授業態度35%、発言頻度35%、課題への取り組み姿勢30%。ただし、欠席回数が5回以上の場合は欠格とする。課題については、授業内で講評、質問対応等を行う。																										
成績評価基準	C(合格)となるためには、到達目標を最低限達成することが必要である。																										
その他(履修条件・関連科目など)	特になし																										
テキスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【書籍名】</th> <th>【著者】</th> <th>【出版社】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>特になし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】	1.	特になし			2.				3.				4.				5.			
番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】																								
1.	特になし																										
2.																											
3.																											
4.																											
5.																											
参考資料文献等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【書籍名】</th> <th>【著者】</th> <th>【出版社】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>工業デザインのための材料知識</td> <td>岩井正二・青木弘行</td> <td>日刊工業新聞</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】	1.	工業デザインのための材料知識	岩井正二・青木弘行	日刊工業新聞	2.				3.				4.				5.			
番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】																								
1.	工業デザインのための材料知識	岩井正二・青木弘行	日刊工業新聞																								
2.																											
3.																											
4.																											
5.																											
参考URL	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【表示名】</th> <th>【URL】</th> <th>【説明】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	【表示名】	【URL】	【説明】	1.				2.				3.											
番号	【表示名】	【URL】	【説明】																								
1.																											
2.																											
3.																											
更新日時	2023/12/20 17:02:23																										

時間割番号	720507
科目名	コーポレート・ファイナンス研究
科目名(英字)	Corporate Finance
担当者氏名	田澤 宗裕
対象研究科・専攻	経営学研究科経営学専攻修士課程
講義学期	後期
単位数	2

準備学習・事後学習	日頃から新聞やビジネス雑誌等のメディアで企業財務に関する情報をチェックし、企業財務全般に対して広く関心を持つようにすること。授業後には、毎回、2時間程度、指定範囲を復習するとともに、次回の内容について、毎回、2時間程度予習し、授業におけるディスカッションの準備をしておくこと。		
授業の概要と目的	企業の財務的意思決定の考え方、そして、その在り方について考察する。講義では、まず、企業の最適資本構成、合併・買収(M&A)およびペイアウト政策などのテーマについて学ぶ。次に、講義テーマに関する研究論文を講読し、企業財務に関する知識を深める。 なお、授業内容については、受講生の興味・関心や理解度等に応じて、受講生に相談の上、一部変更する場合がある。		
該当するCP(カリキュラム・ポリシー)およびDP(ディプロマ・ポリシー)	本授業はCP1・3・4およびDP2・3に該当する。		
科目ナンバリングコード	GBB11213		
到達目標	企業の財務的意思決定に関する各トピックの基本的内容を理解し、説明することができる。こうした知識を使用して、企業の財務的意思決定について論評することができる。		
	番号	【項目欄】	【内容欄】
	1.	企業財務(コーポレート・ファイナンス)とは	コーポレート・ファイナンスの概要、貨幣の時間価値、複利計算と現在価値への割引計算
	2.	割引キャッシュ・フロー法	正味現在価値法、投資案の採否、リスクを考慮した現在価値の計算方法、リスク調整割引率法
	3.	正味現在価値と株式価値の最大化	資本コスト、残余配当アプローチによる株式価値、会社配当と自家製配当、配当政策と株式価値の関係
	4.	レバレッジと資本コスト	自己資本利益率(ROE)、レバレッジ効果、ビジネス・リスクとファイナンシャル・リスク
	5.	投資家の要求収益率と資本コスト	株主と負債権者の要求収益率、加重平均資本コスト

授業計画

6.	モジリアーニ・ミラー (MM) の定理 (1)	MMの第 1 命題と第 2 命題
7.	モジリアーニ・ミラー (MM) の定理 (2)	最適資本構成の問題
8.	ペイアウト政策 (1)	MMの配当理論、配当政策の効果
9.	ペイアウト政策 (2)	自社株買いとは、自社株買いの効果
10.	企業のM&A (1)	M&Aとは何か、M&Aの分類、M&Aのメリットとデメリット
11.	企業のM&A (2)	友好的M&Aと敵対的M&A、株式公開買付け (TOB)
12.	企業のM&A (3)	敵対的買収防衛策、レバレッジド・バイアウト (LBO)、 マネジメント・バイアウト (MBO)
13.	研究論文講読 (1)	担当者を割り当て、授業テーマに関する研究論文を講読する。
14.	研究論文講読 (2)	担当者を割り当て、授業テーマに関する研究論文を講読する。

	15.	研究論文講読(3)	担当者を割り当て、授業テーマに関する研究論文を講読する。																								
授業方法の形式	演習・輪読形式 授業連絡、資料配布等については、WebClassを活用する場合がありますので、確認を怠らないこと。																										
授業の実施方法	対面授業																										
成績評価方法	授業への取り組み姿勢20%、発言頻度20%、輪読における報告内容60% 発表や課題については、授業内で継続的にコメントの提示や質問対応等を実施する。																										
成績評価基準	C(合格)となるためには、到達目標を最低限達成することが必要である。																										
その他(履修条件・関連科目など)	「インベストメント・マネジメント研究」を履修していることが望ましい。																										
テキスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【書籍名】</th> <th>【著者】</th> <th>【出版社】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>受講生と相談の上、決定する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】	1.	受講生と相談の上、決定する。			2.				3.				4.				5.			
番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】																								
1.	受講生と相談の上、決定する。																										
2.																											
3.																											
4.																											
5.																											
参考資料文献等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【書籍名】</th> <th>【著者】</th> <th>【出版社】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>新・現代の財務管理</td> <td>榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山崎尚志・山田和郎・月岡靖智</td> <td>有斐閣アルマ</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>コーポレート・ファイナンス 基礎と応用</td> <td>新井富雄・高橋文郎・芹田敏夫</td> <td>中央経済社</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>ゼミナール コーポレートファイナンス</td> <td>朝岡大輔・砂川伸幸・岡田紀子</td> <td>日本経済新聞出版</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>コーポレート・ファイナンス</td> <td>リチャード・A・ブリー、スチュワート・C・マイヤーズ、フランクリン・アレン</td> <td>日経BP</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>コーポレートファイナンス</td> <td>ジョナサン・パーク、ピーター・ディマーズ</td> <td>丸善出版</td> </tr> </tbody> </table>			番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】	1.	新・現代の財務管理	榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山崎尚志・山田和郎・月岡靖智	有斐閣アルマ	2.	コーポレート・ファイナンス 基礎と応用	新井富雄・高橋文郎・芹田敏夫	中央経済社	3.	ゼミナール コーポレートファイナンス	朝岡大輔・砂川伸幸・岡田紀子	日本経済新聞出版	4.	コーポレート・ファイナンス	リチャード・A・ブリー、スチュワート・C・マイヤーズ、フランクリン・アレン	日経BP	5.	コーポレートファイナンス	ジョナサン・パーク、ピーター・ディマーズ	丸善出版
番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】																								
1.	新・現代の財務管理	榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山崎尚志・山田和郎・月岡靖智	有斐閣アルマ																								
2.	コーポレート・ファイナンス 基礎と応用	新井富雄・高橋文郎・芹田敏夫	中央経済社																								
3.	ゼミナール コーポレートファイナンス	朝岡大輔・砂川伸幸・岡田紀子	日本経済新聞出版																								
4.	コーポレート・ファイナンス	リチャード・A・ブリー、スチュワート・C・マイヤーズ、フランクリン・アレン	日経BP																								
5.	コーポレートファイナンス	ジョナサン・パーク、ピーター・ディマーズ	丸善出版																								
参考URL	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【表示名】</th> <th>【URL】</th> <th>【説明】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>特になし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	【表示名】	【URL】	【説明】	1.	特になし			2.				3.											
番号	【表示名】	【URL】	【説明】																								
1.	特になし																										
2.																											
3.																											
更新日時	2024/01/30 15:46:23																										